

SKT_Plus ABS

専用補足取扱説明書

ご使用前に本書と別冊「SKT7 取扱説明書」を必ずお読みになり、十分に理解をした上でお使いください。

また、本書はいつでもご覧になれる所に大切に保管しておいてください。

* 別冊「SKT7 取扱説明書」の該当ページ

下表を参考に、該当するページをお読み下さい。

項 目	本書「専用補足取扱説明書」	「SKT7 取扱説明書」
シート類の取り付け・取り外し	P.2	—
アームサポートの高さ調節	P.3	—
ヘッドサポートの取り付け・取り外しと調節	P.3～裏表紙	P.27
バックサポートの張り具合調整	当商品は該当しません	P.29
インナーパッドの取り付け・取り外し	当商品は該当しません	P.30
仕様	裏表紙	P.38-39

使用目的

本製品は、一人乗り用・手動車いすです。これに搭乗しての移動と、休息を使用目的としています。

本製品は、介助者が操作する介助用標準型車いすです。日常生活用に設計されており、特殊な使用目的（スポーツ・入浴など）のものではありません。

ティルト（座角度調整）機能を装備しています。

はじめにご確認ください

本製品購入後、はじめて梱包箱を開けるときに、下記のものがすべて入っていることを確認してください。

- ・車いす本体 *1台
- ・座アウターシート *1ヶ
- ・マルチヘッドサポート *1ヶ
- ・工具（スパナー2ヶ 六角レンチ 5mm・4mm・3mm 各1ヶ）
- ・専用補足取扱説明書（本書）1枚
- ・背アウターシート 1ヶ
- ・レッグサポート *左右各1ヶ
- ・SKT-7取扱説明書 1冊
- ・骨盤サポートベルト *1ヶ
- ・転倒防止バー *2ヶ
- ・保証書 1枚



警告 手押しハンドルおよび本体フレームに重いものを吊り下げたり、バックサポートのポケットに重いものを入れたりしないでください。
過度の荷物によりバランスが崩れ、転倒する恐れがあります。

特長

- **ABS（アクティブ・バランス・シーティング）理論に基づいたシート構造を持つスタンダードモデル**
骨盤部と胸郭部を異なった方法で支えることで、それぞれの角度をコントロールできるシート構造です。骨盤を適切に起こしながら、背中中はゆったりともたれることができるので、前ズレが起こりにくい姿勢で、リラックスしながら座位を保つことが可能です。
- **専門知識を必要としないフィッティングシート**
背と座のインナーシートに伸縮性のある素材を採用し、フィッティングのための調整作業を不要としました。座るだけで、包み込まれるような快適な乗り心地が得られます。

シート類の取り付け方法

△注意

- ・作業は、駐車用ブレーキレバーを引いて、両輪にブレーキをかけてから行ってください。
- ・面ファスナーに糸くず、汚れ等がついたときは、接着が弱くなりますので取り除いてください。
- ・シートが汚れた場合は、中性洗剤を染み込ませた布で汚れを拭き取った後、水で濡らした布で洗剤を拭き取り、乾いてからご使用ください。

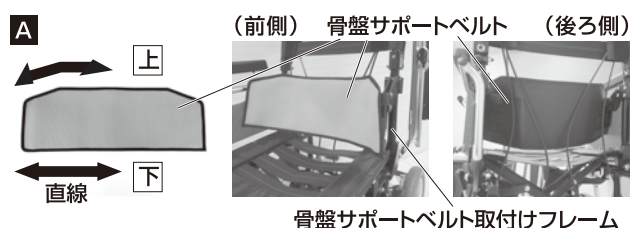
アウターシートについて

● 取り付けかた

1 骨盤サポートベルトの取り付け

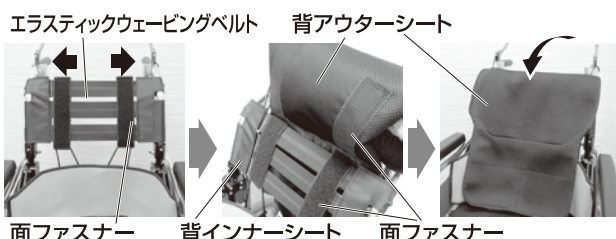
骨盤サポートベルトは(写真A)のように上下とします。骨盤サポートベルト取付けフレームに巻きつけ、しっかり張った状態でベルトを折り返して面ファスナーを貼り合わせます。(左右とも同様に取付けます。)

*アームサポートを跳ね上げると作業がしやすくなります。作業終了後、アームサポートを元に戻す際はしっかりとロックされていることを確認してください。



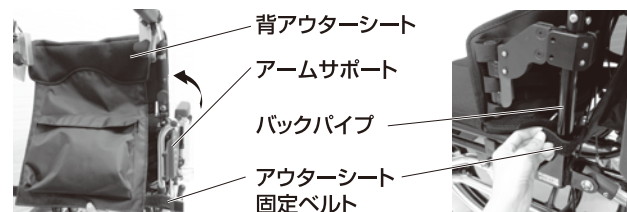
2 背アウターシートの取り付け

1 背インナーシートのエラスティックウェービングベルトに垂直に巻かれた面ファスナー2本をそれぞれ両端へ配置します。
背アウターシートの上端をバックサポートベルト上端に合わせて前後を折り返し、背インナーシートの面ファスナーと貼り合わせて取付けます。



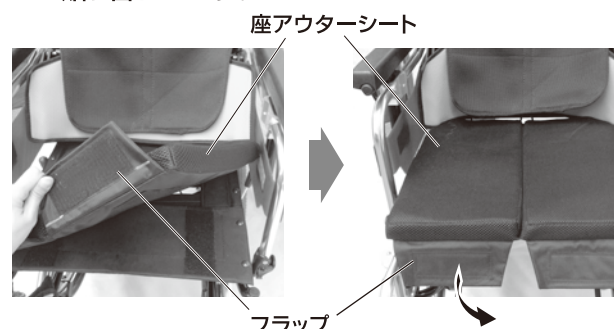
2 アームサポートを跳ね上げ、バックパイプにアウターシート固定ベルトを巻き付けて固定します。

*作業終了後、アームサポートを元に戻す際はしっかりとロックされていることを確認してください。



3 座アウターシートの取り付け

座アウターシートのフラップを前側にし、車いす本体のインナー座シート表面の面ファスナーと貼り合わせます。フラップを折り曲げインナー座シート裏面の面ファスナーと貼り合わせます。



● 取り外しかた

*取り外し方は、取り付けと逆の手順になります。

レッグサポートについて

● 取り付けかた

- 1 レッグサポートの幅広側の端を車いす本体のレッグパイプに巻き付け、面ファスナーを貼り合わせます。
- 2 レッグサポートの幅狭側の端をフットサポート先端の前後どちらかの穴に差し込みます。



- 3 穴に通したレッグサポートの端を折り返して面ファスナーを貼り合わせます。
- 4 反対側も同様の作業を行います。

● 取り外しかた

*取り外し方は、取り付けと逆の手順になります。

ロックンブレーキについて

△注意

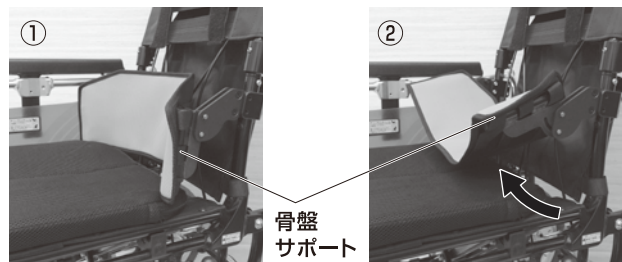
- ・ロックンブレーキを他の車いすに取り付けて使用しないでください。
- ・車輪を他のサイズや種類に変更しないでください。
- ・ロックンブレーキはタイヤの空気圧低下時等の制動力を保証するものではありません。使用前にタイヤの空気圧等の点検を行い、必要に応じて空気の補充をしてください。



骨盤サポートの使いかた

本製品の骨盤サポートは可動式です。

- 1 ご使用の際には、必ず骨盤サポートを使用時の位置(写真①)にセットしてお使い下さい。
- 2 車いすを折りたたむ際は、骨盤サポートを跳ね上げた状態にしてから(写真②)座シートを持ち上げて折りたたんでください。



⚠ 警告

- ・各部の調節は、駐車用ブレーキレバーを引いて、両輪にブレーキをかけてから、平坦な場所で行ってください。

アームサポートの高さ調節

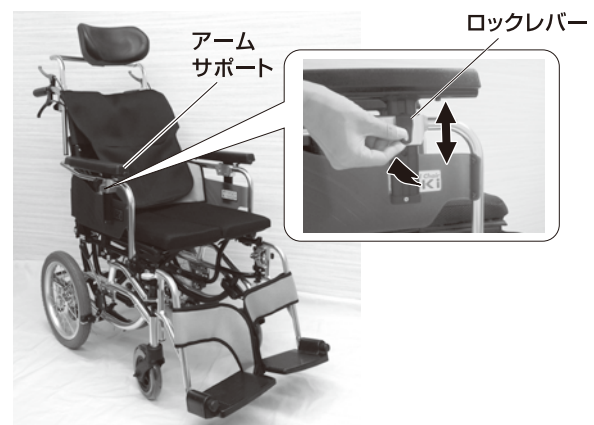
⚠ 注意

- ・高さ調節をした後は、必ず固定されたことを確認してください。
- ・調節中にアームサポートが下がり、アームサポートフレームとアームサポートの間に指等をはさまないように注意してください。けがをする恐れがあります。
- ・アームサポートを持って車いすを持ち上げないでください。

- 1 駐車用ブレーキのレバーを引いて両輪にブレーキをかけます。
- 2 ロックレバーを引いてロック解除します。
- 3 アームサポートの高さを調節し、希望の高さでロックレバーを押し下げます。
- 4 ロックレバーがいっぱいまで下がり、アームサポートが確実に固定されていることを確認します。

*反対側も同じ高さに調節してください。

*調節後、アームサポートがしっかり固定されていることを確認してください。



ヘッドサポートの取り付け・取り外しと調節

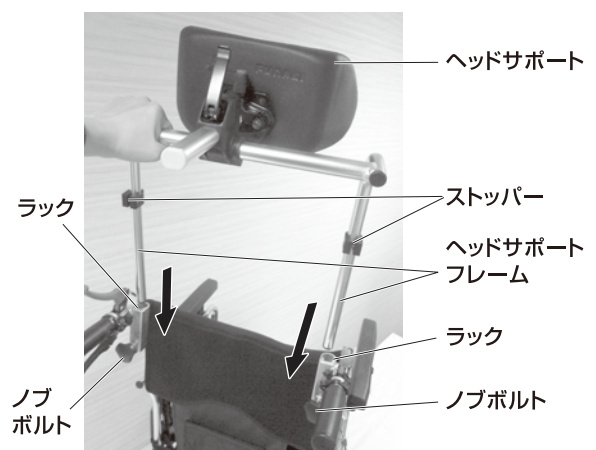
⚠ 注意

- ・ヘッドサポートの着脱は、使用者が乗車していない状態で行ってください。

● 取り付けかた

- 1 駐車用ブレーキのレバーを引いて両輪にブレーキをかけます。
- 2 左右のラックにヘッドサポートフレームを差し込みます。
*ノブボルトに当たって入らない場合は、ノブボルトをゆるめてください。
- 3 ヘッドサポートの高さを使用者の頭の位置に合わせ、左右のノブボルトを締め付けて固定します。
- 4 ノブボルト固定後、左右のストッパーをラック上端まで下げ、ネジを締め固定します。
ヘッドサポートフレームを外した後、次回使用の際、前回使用の高さで簡単にセットできます。

*ヘッドサポートとヘッドサポートフレームにガタつきがなく、しっかりと固定されていることを確認してください。



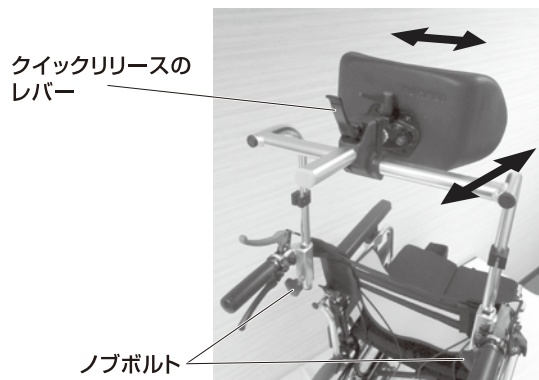
● 取り外しかた

取り付けと逆の要領でノブボルトをゆるめ、ヘッドサポートフレームを上を持ち上げてラックから取り外します。

● 位置・角度調整のしかた

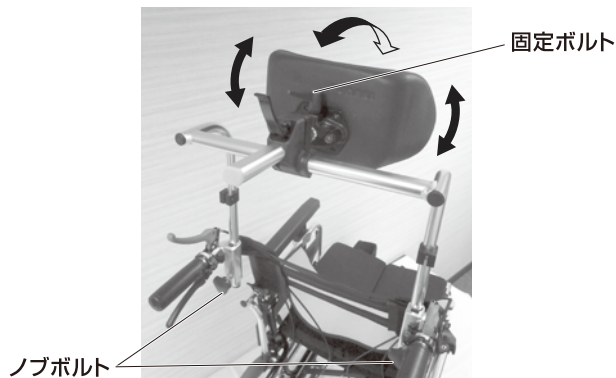
使用者の身体や状態に合わせて、ヘッドサポートを適切な高さ、位置、角度になるように調節してください。

- 1 駐車用ブレーキのレバーを引いて両輪にブレーキをかけます。
- 2 ノブボルトをゆるめ、ヘッドサポートの高さを調節後、ノブボルトを締め付けてヘッドサポートフレームを固定します。
- 3 クイックリリースのレバーを倒します。ヘッドサポートの位置を左右・前後にスライドさせて調節し、レバーを起こして固定させます。



- 4 固定ボルトのレバーを左回りにまわしゆるめます。ヘッドサポートの角度を調節し、レバーを右回りにまわし固定します。

※固定ボルトのレバーを引き上げてまわすと空回りをし、レバーの位置を調節できます。



仕様

単位:mm

フレーム材質	アルミ	全長	1080
シート材質	ポリエステル、ナイロン	全幅	550
アームサポート	ウレタン	全高	1040~1260(970) ※3
サイドガード	樹脂	シート幅	440 ※4
グリップ	エンボスグリップ	前座高	465(435) ※1
バックサポート	エラスティックベルト	後座高	465(435) ※1
背折れ	あり レバー式	シート奥行	400
フット・レッグサポートタイプ	開閉式(スイングアウト)	バックサポート高	460
フットサポート	ポスト式 黒	主輪径	14x1.5
キャスト	6" ソフトフォーミング モジュール	キャスト径	6インチ
タイヤ	エアータイヤ	アームサポート高	200/225/250/275 (230/255/280/305) ※1
制動用ブレーキ	あり	フットパイプ長	390~(360~) ※1
ハンドリム	なし	折りたたみ全幅	340 ※5
駐車用ブレーキ	KTブレーキ ロックン付き	折りたたみ全長	750(1100) ※2
		折りたたみ全高	695
		重量	20.9kg
		耐荷重(積載物含む)	100kg

※1 ()内はクッションを取り外したときの寸法です。

※2 ()内はフット・レッグサポートを取り付けたままのサイズです。

※3 ()内はヘッドサポートを取り外したときの寸法です。

※4 アームパイプの内々の幅です。

※5 ワンタッチソフトシート(背・座)を外した時のサイズです。

製造元

車いすの廃棄については、最寄りの行政担当窓口におたずねください。



〒457-0863 名古屋市南区豊三丁目38番10号